

(4) 夏休みの青少年ボランティア体験【中学生・高校生以上対象】

中学生と高校生を対象に、5つの施設と4つの団体に協力をいただき、45コースのボランティア活動を計画しました。多くの中学生と高校生がボランティアを体験しました。

☆活動の様子・感想

平和のまちミュージアム 8月5日～13日の2日間 4コース【事前研修7月29日】
小倉北区 平和のまちミュージアム

ボランティアは、事前研修を受け「平和のまちミュージアムが本市で起きた戦争の悲劇に向き合い平和の大切さを感じてもらおう」という意義を学びました。活動当日は、展示物の簡単な解説や観覧者誘導、声掛けを行いました。



○ 私がボランティア活動に参加するのは今回が初めてで、最初はとても不安な気持ちで一杯でした。しかし、事前研修の時、職員の方から「全てを理解して説明することは難しい。だからこそ、自分が興味のあることなど何か一つでも誰かに伝えられるようになりますよ。」という話を聞いて、その不安は少し薄れると共に当日がどんな一日なるのか期待の気持ちを抱くようになりました。そして当日は、小さな子どもから高齢者まで沢山のの方と接することができました。中には戦争体験者の方も来館くださり、当時の悲惨さや遺族の辛さを教えてもらいました。私は1日を通して、改めて誰かに伝えていくことの大切さを理解しました。そして、体験者ではなくても戦争の悲惨さは語り継いでいくべきだと思いました。

【小倉高校 1年】

○ 私は兄が長崎の大学に進学した影響で、何度か長崎の原爆資料館へ足を運んだことがありました。そのことがきっかけで、自分の住んでいる北九州市に新しく設立された「北九州市平和のまちミュージアム」への興味と関心をもち、今回の活動に応募しました。事前研修の際に学芸員さんの丁寧な説明は受けたけど、実際に来場者の方々に話しかけて資料の説明をすることはなかなかハードルが高く、緊張して言葉が詰まったり頭が真っ白になったりすることが何度もありました。しかし、来場者や職員の方々が温かく迎えてくださり、充実した2日間を過ごすことができました。また、来場者の中には終戦直後、小学生だった方や身内に小倉陸軍造兵廠で働いていた方がいた方などの貴重な体験談を聞かせて頂くことができました。学校で「〇〇年に〇〇で戦争が起こった」という機械的な授業では、伝わりきらない戦争の悲惨さや残酷さを実際の資料を見ることを通して学習することの大切さを実感しました。今回の活動を通して、自分も知らなかった戦争のことを学ぶことができたと同時に、コミュニケーション能力も少しだけ向上した気がしました。参加しなければ得られなかった経験をたくさんさせて頂くことができ、この活動に参加して良かったと思いました。今後は自主的に戦争への理解を深めていこうと思いました。

【小倉西高校 3年】

○ 自分が事前学習や解説シナリオをもとに展示についての説明をするだけでなく、来場者の方から北九州市に対する思いや戦時中の話を聞くことができ、貴重な経験になりました。また、現在自分が平和を享受しているこの場所で戦時中に人々がどれほど辛い経験をしていたのかということを経験を通して知ることができました。事実を自分が知り他の人に言葉で伝えるという体験によってさらに学びが深まったと感じています。大学生・社会人になってからも色々な活動に積極的に参加し、今回のボランティアでの経験を活かしていきたいです。

【明治学園高校 3年】

子どもの館 7月21日～8月17日の2日間 12コース【事前研修7月15日、22日】

八幡西区 コムシティ

「子どもの館」のスタッフの方の助言を受けながら、各コーナーでスタッフの一員として子どもたちに対応しました。



○ 中学生になり1年生の夏休みは、なんとなく過ごしていたため、特にこれといった思い出もなかったです。今年は何か思い出になるようなことをしたいと思い、小さい頃よく遊びに行っていた「子どもの館2日間コース」に応募しました。帰りにお客様に笑顔で帰ってもらうことを目標に2日間を活動しました。たくさんの方から「ありがとうございました。」という言葉ももらうたびに嬉しくなりました。私が1日目と2日目だったのは「ふしぎ探検」と「キッズハウス」の2つだったため、よくお客様から声を掛けてもらうことができました。休憩室で先輩たちが他の場所の話をしていて、とても面白かった。【黒崎中学校 2年】

○ 私は今回のボランティアで工作を教える事とアスレチックの案内を体験させて頂きました。工作は得意な方でしたが、今まで人に教えるということがあまりなかったので初めは不安でしたが、だんだんスムーズに教えることができるようになり、達成感がありました。アスレチックの案内では、初めの方は教えて子ども達にあまり聞いてもらえず困っていました。しかし、しゃがんで目線を合わせて話すようにすると、聞いてもらえることが多くなったので、目線を合わせることは大切だということが分かりました。今回ボランティアは初めて参加しましたが、良い経験や学びがあり何より子どもの笑顔をたくさん見ることができて良かったです。【高生中学校 3年】

○ この2日間たくさん子どもと触れ合いとても楽しかったです。最初は自分から動けなかったけど、時間が経つにつれて、自分のすることを見つけ積極的に動くことができるようになりました。でも、コミュニケーションを子どもさんや保護者の方と全然できてなかったのもっと自分からコミュニケーション能力を上げて、たくさんの人と出会い話したいと思いました。ここでの反省を次に生かせるようにしていきたいです。【引野中学校 3年】

○ 今回ボランティアに参加して大きく成長した部分があります。元々私は子ども達と関わることや話すことが苦手と思っていましたが、子ども達がどうしたら笑顔になってくれるかなど自分から考え、話しかけ、そして子ども達が笑顔になってくれた時は、すごくやりがいを感じたし、話しかけて良かったと思いました。また、1日目と2日目では、自分の行動も変わりました。1日目では、何をしたらいいかあまり自分から行動できなかったけど、2日目は自分から仕事をして職員さんに聞くなど有意義な時間を過ごすことができました。私はこのボランティア活動に参加して本当に良かったし、苦手なことにも挑戦し得意なことも増えました。来年もボランティアに参加して自己成長していきたいです。【折尾高校 1年】

○ 子どもの館で1日目は「あそび工房」、2日目は「ふしぎ探検」と「あそび工房」で活動した。「あそび工房」では、工作の仕方を子ども達に教える活動をした。1日目は、どうすれば小さな子どもでも分かりやすく簡単に作ることを考えながら、丁寧に説明をし、2日目では、糸を貼り付ける場所や折り紙の折り方を丁寧に教え、一つ一つの作業をほめるように心掛けた。「ふしぎ探検」では、なぞなぞの説明をしたり、迷子になっている子がいたので優しく声を掛けたりすることができた。私は人と話すことが苦手だったが、今回の活動で子ども達や保護者の方と一緒に活動したボランティアの人とコミュニケーションを取ることができ、少し苦手意識がなくなった。子ども達への接し方などを学ぶことができたので、将来に活かしていきたいと思う。【美萩野女子高校 3年】